

YOKOSUKA MIURA ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGIST

横須賀・三浦

放射線技師会報

YOKOSUKA MIURA ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGIST



No.97

Vol-33-No.1 JUL.2007

発行：横須賀三浦放射線技師会 広報

# 目 次

○ 巻頭言	柳澤 正和	・・・	2
○ キリン横浜ビアビレッジ見学	加藤 実沙	・・・	3
○ 追悼文 ちくさん（筑前一郎先生）を偲ぶ	濱田 順爾	・・・	5
○ 第100回横須賀三浦放射線技師会研究会のご案内		・・・・・・・・	7
○ 新入会員紹介		・・・・・・・・	9
○ 担当交代のお知らせ		・・・・・・・・	12
○ 医師会報を読んで	高橋 宏之	・・・	13
○ 私のプライベートコラム	大内 芽来	・・・	16
○ YMBITよりご挨拶		・・・・・・・・	17
○ 編集後記		・・・・・・・・	18

## 表紙説明

2007年6月 宮古島にて撮影  
撮影者：大内 芽来

# 巻頭言

横須賀三浦放射線技師会 会長 柳澤 正和



政界では、教育 3 法案が審議され通過しそうである。教職員免許の更新制度が始まる。この事により我々放射線技師免許の更新制度に拍車がかかりそうである。

6月17日、平成19年度第一回ADセミナー（医療学）が鶴見大学で始まった。総勢100余名の参加と思われる。『医療倫理』と『生命倫理』・『安楽死』と『尊厳死』の違い等講義があり、久しぶりに学生時代に戻った感覚に陥った。

この7月から、猶予期間を経て、医療法が改正し医療制度が変わる事になった。項目としては『高額医療費の現物給付化』・『患者への医療情報の提供の推進』・『医療計画制度の見直し』・『医師不足への対応』・『医療安全の確保』・『医師の資質向上』・『医療法人制度改革』・『感染症法改正』等である。我々に直接関係するものとして、医薬品安全管理体制＝責任者の配置、造影検査の手順や医療機器安全管理体制＝保守点検に関する計画策定・管理責任者の配置などがあり機器の日常点検や従事者への研修が必要となる。

医療機能の分化・連携の推進では、従来個々の病院（点）で完結した医療行為を地域が機能を分化し地域（面）で完結する切れ目のない連携がうわれている。

医療が大きな曲がり角を迎えているのは確かである。健康や生命を守る医療を育てる事に反対する人はいないが、国は【財政の許す範囲内の医療】という枠組みを強く打ち出している。どちらが良いか・正しいか？より何処にバランスを置くかが問われている。

医療機能の分化・効率的な医療から『病院完結型医療』から『地域完結型医療』への流れが推し進められている。地域の医療職員の交流や共同での医療、介護に当たる変化が進む事になる。古くから交流が進められてきた当技師会の潜在能力を発揮する場が目の前にある・・・

日々変化する医療制度政策の中では、直面する個々の事項にとらわれ全体としての整合性を欠く事になりかねない。今だからこそ、夢ある将来像とそれに至る道を思い描く事が大切となる。面（地域）として捉え、バランス感覚のある技師会で、将来像をもてば鬼に金棒となるはずである。会員・賛助会員と共にその実現に向かいたい。

# キリン横浜ビアビレッジ見学

横須賀北部共済病院 福利厚生 加藤 実沙

5月20日、今年度の福利厚生第一弾企画「キリン横浜ビアビレッジツアー」を行いました。初企画な為どうなることかと心配でしたが横須賀三浦放射線技師会といえば、ビール大好きな技師会！昼間からたらふく飲んでしまいました。そんな昼間から酔っ払った21名(会員15人、子供1人、賛助会員5人)の状況報告をしたいと思います。



ビアビレッジでは、毎日30分ごとに60分のブルワリーツアー（工場見学）が行われています。ツアーのうち、40分はビールの製造工程をツアーガイドが案内してくれます。

もちろん、我々の目的はその工場見学ではなく、後半20分の試飲タイム！無料でビールを飲めて、おつまみ付き。しかも“おかわり券”付きなので、2杯目は違うビールも楽しむこともできるのです。もちろんジュースもあります。20分間でビール2杯もタダで飲んでみんなご機嫌！

そんななか、ビールを3杯もタダで飲んだ方がいます。誰でしょう??もちろんF田さんです。

試飲タイムにて、キリンの方が「缶ビールの美味しい注ぎ方」を教えてくれた時の1コマ。

美味しく注いだビールの方と缶ビールを比較してどちらが美味しいか体験して欲しいとのことで、代表にF田さんが自ら立候補しました。

キリンの方 : 「どなたか美味しく注いだビールの味と缶ビールの味を比較していただける方はいますか？」

F田さん : 「はい!!!」

キリンの方 : 「では、こちらが美味しく注いだビールです。どうぞ。」

F田さん : 「美味い！そっちの缶ビールも飲みたい。」

キリンの方 : 「いかがですか？（本当は、“美味しく注いだビール”が美味しいと言ってもらいたい）」

F田さん : 「こっちの缶ビールも美味しい。う～ん、満足！」

結局比較をするわけでもなく、ただビールをゴクゴク飲んだだけのF田さんは、唯一3杯もビールをタダで飲んでご満悦でした。

その後、レストラン「スプリングバレー」にて食事&飲み放題タイム。飲み放題メニューには8種類の樽生ビールがあり、色々なビールを楽しむことができました。恒例の景品抽選会では、ビアビレッジ内の売店にて販売しているオリジナルグッズ（ラガービールせんべい・一番絞りビールゼリーチョコレート・一番搾りエプロン・ラガービックタオルなどなど）を用意し、盛り上がりました。

昼間からフラフラ&真っ赤な顔の21名が、15時に解散となりました。無事、帰宅できたかな？



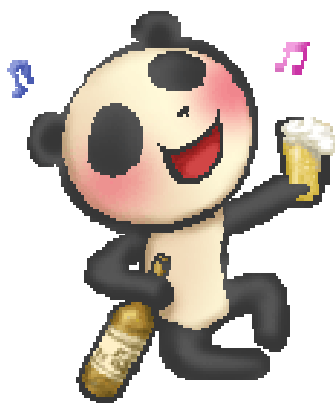
「こちらが美味しい  
ビールです」



ゴクゴク、美味しい！



缶ビールも！  
両手にビール！







## 追悼文

ちくさん（筑前一郎先生）を偲ぶ

横須賀北部共済病院 濱田順爾

私の恩師、元横須賀北部共済病院技師長であられた筑前一郎先生が、かねてより病氣療養中のところ、平成19年4月9日、64才の若さで逝去されました。

通夜、葬儀は、故人を偲ぶ親族や多くの関係者に見守られながら、4月12日、13日の両日に渡り、上大岡奉斎殿にてしめやかに執り行われました。

筑前先生と初めてお会いしたのは、昭和62年3月、今は廃校となってしまった母校の千葉大学医学部付属診療放射線技師学校の教務から、卒業生が勤めている病院に就職してみないかとの紹介を受け、当時の旧名称田浦共済病院へ面接を受けに訪れた時でした。放射線科の奥から顔を出した筑前先生は、トレードマークのスポーツ刈りにぎょろっとした目、当時売り出し中だったミュージシャンの久保田利伸に似ているお顔、そしてまるで自衛官のようなきりっとしたみだしなみで、不思議な雰囲気醸し出していました。

筑前先生の人となりに突然コミックなどを引き合いに出すのは甚だ失礼な話ではありますが、、、。ジョージ秋山の「浮浪雲」をご存知でしょうか？ビッグコミックオリジナルの連載作品で、舞台は幕末の品川宿、勝海舟、坂本龍馬など歴史上の人物も多数登場する設定。物事に執着せず、ふわりと生きる問屋場の頭である浮浪雲が、子供の教育や夫婦間の問題、はたまた女性のくどき方まで、サラリと手本を見せてくれるような、まさに現代人に向けたドラマという感じのコミックです。私にとっての筑前先生は、空に浮かぶ雲のごとく、小さなことにこだわらず自由気ままに生きているこの浮浪雲という人とダブって見えてしまうのです。

仕事を離れると、グルメ、酒、スキー、ヨットなどなど、多くの趣味を楽しんでおられました。在職中は何度も飲み連れて行ってもらいました。その折、恋愛の相談などもしたのを覚えております。また「定年したら仕事はしない。好きなことをして過ごすんだ。」との言葉どおり、定年退職後は何度も海外まで足を運んでスキーを楽しまれていたようです。そして退職後は横須賀中央の「をとめ」という小料理屋に毎週決まった曜日に足を運んでおられ、店主の病気が理由で「をとめ」が店を閉める数年前までは、筑前先生を慕う私や同僚のUB氏、検査科のM氏などはよく一緒に待ち伏せをして、「をとめ」に奇襲をか

けたものでした。筑前先生はいつでも笑顔で我々の同席を許してくれました。

そうそう筑前先生は女性にもよくモテたんです。バレンタインデーでは、就職当時まだ20代で売り出し中だった私など足元にも及ばないくらい、山ほどチョコレートを貰ってご満悦だったのを覚えております。そういえば、葬儀の際も、見覚えがあるような年配の女性の姿も多く、さながら旧田浦共済病院時代の「ちくさん」の女性ファンが集合したような雰囲気だったのが思い出されます。

筑前先生の口癖に「さすが、ちくさん！」というのがありました。いい写真を撮ったときに、シャーカステンの前で、自画自賛。それを見た私が、「お～！」と。。そんな感じで、私はX線写真の構図のお手本を見せてもらっていました。多くを語らず、サラッと一言解説。それが筑前先生のスタイルでした。私はそれをヒントにいろいろ実践してみる。胃透視、注腸は筑前先生の得意とする分野でした。バリウムの流し方、患者の回転のさせ方、たくさんのコツを教わりました。

年齢も立場も中堅となった今、横三技師会では大きな顔をしている私ですが、こんな私が横三技師会に大きく関わるようになったのは、筑前先生が学術理事を退かれた後任という形で任命されたのが始まりでした。当時、筑前先生は肝機能が思わしくなく、その治療に専念するためという理由で理事を降りられたように記憶していますが、治療のかたわら、しっかりと趣味のスキーなんぞも楽しんでおられ、当時の私は少々納得がいかない思いも正直ありましたが、かといって筑前先生を責めるどころか、益々その人望の虜になっておりました。横三技師会へ関わりを持たせてくれた筑前先生には感謝の気持ちで一杯です。

ついこのあいだ、私は2度目の結婚式を挙げました。その披露宴の折、久しぶりに筑前先生にお会いすることが出来ました。「おめでとう」と言っていたら、とても元気そうだったのですが、その後体調を崩されたと伺いました。披露宴会場でまわした色紙には私たち2人を祝福する心温まる俳句を書いて贈ってくれました。あの時私たち二人に投げかけてくれた笑顔が忘れられません。

ちくさんのご冥福を心からお祈りいたします。合掌

# 第100回横須賀三浦放射線技師会研究会のご案内

拝啓

向夏の候、皆様にはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

この度、当研究会は皆様に支えられ今回をもちまして100回目を迎えることとなりました。そこで、これを記念し公立学校共済組合関東中央病院病院長 前川和彦先生に特別講演をしていただくことになりました。ご多忙中とは存じ上げますが、是非ご出席の程宜しくお願いたします。なお、研究会終了後、記念祝賀会を企画しております。合わせてご出席いただきますようご案内いたします。

敬具

2007年6月

横須賀三浦放射線技師会 学術部・福利厚生部

(担当 金子俊広 衣笠病院)

日時 2007年7月21日(土) 15:00~19:00

会場 セントラルホテル 5F

祝賀会会費 会員・一般: 3,000円

賛助会員: 10,000円

第1部 15:00~ 座長 杉本 光洋氏

①『画像連携、地域連携において、大容量データに対応する

革新的なネットワークソリューション』

株式会社エルクコーポレーション 医療システム事業部 情報システム課

小林 正彦氏

②『タイコヘルスケアジャパン株式会社の会社概要と製品紹介』

タイコヘルスケアジャパン株式会社 マリンクロットイメージング事業部

横浜エリア画像診断 医薬情報担当 越智 玲氏

③『レミケード治療の実際』

田辺製薬株式会社 横浜支店横浜南営業所 第3チーム 谷川 秀人氏

④ 核医学検査啓発用ソフトウェア『アイソトープ検査リファレンス』のご紹介

日本メジフィジックス株式会社 医療連携グループ 中島 護氏



第2部 16:00～ 座長 柳沢 正和会長  
特別講演 『JCO事故被ばく者の治療経験から』  
公立学校共済組合関東中央病院 病院長 前川 和彦先生

第3部 17:00～  
第100回研究会記念祝賀会

※お手数ですが、準備の都合上、研究会及び祝賀会のご出席の諾否を**7月6日**までに福利厚生部狩野(satosi-karino@jcome.home.ne.jp)、または学術部金子までお知らせください。



## 新入会員紹介

横須賀共済病院 野口 奈津希

横須賀共済病院で4月から働いている野口奈津希です。今は、一般撮影をやっています。去年は昭和大学横浜市北部病院で働いていたので少し撮影の方はできるのですが、使用している装置が違い最初は何をするにも手探り状態で時間がかかってしまいました。一緒に働いている皆さんにはだいぶ迷惑をおかけしていると思います。約2ヶ月間働いてやっと病院の雰囲気にも慣れてきた気がします。まだまだたくさん迷惑をかけると思っていますでよろしくお願ひします。



地元は横須賀なので通勤時間がとても短くなり、睡眠時間が長くなってとても充実した毎日を送っています。趣味は特にないのですが、食べることが大好きで一番のストレス発散法はおいしいものを食べることです。おいしいお店の情報があつたらぜひ教えてください。

仕事を少しでも多く覚えて色々な検査ができるようになりたいと思っていますのでどうぞよろしくお願ひします。

横須賀共済病院 早瀬 卓矢

横須賀共済病院の早瀬卓矢といます。今はTV室でお世話になっています。最初は人の出入りの多さに驚き、疲れきってしまいましたが、今はなんとか動いています。TV室ではよく指導して頂き本当に感謝しています。



出身校は中央医療技術専門学校で、夜間部でした。趣味はサッカー(フットサル)、ボクシング、音楽鑑賞、読書です。サッカーは途中からフットサルで続けてきました。今は病院のサッカー部にも参加していて、勝利に少しでも貢献できるように全力を尽くしたいと思っています。ボクシングを始めたきっかけは「はじめの一步」で、団子の輪島さんのジムに通っていました。今は忙しいので通えていませんが、できる限り続けていきたいと思っています。好きな食べ物は「とんかつとラーメン」なので、おいしい所があつたら教えてください。

一つ一つ仕事を覚えていきたいと思っています。いろいろ迷惑をかけると思いますが、ご指導よろしくお願ひします。

横須賀共済病院 四戸 美智子

2007年4月から横須賀共済病院で働かせて頂いている四戸美智子です。ただいま、CT室で仕事をしています。放射線の仕事の中で一番興味があったのが、CTだったので頑張って勉強していきたいと思い奮闘中の毎日です。しかし、毎日挙動不審な行動をしているだけな気がします。目で、どうしたらいいか助けを求めているので、見かけたときは優しく助けて下さい。

横須賀は、小学校の高学年まで、住んでいたのですが、出身地と中学、高校は青森なので、横須賀のことは、古いデータのままだったので、変わっていてビックリしています。早く横須賀のことも詳しくなりたいとも考えている今日この頃です。ちなみに、趣味は、寝ることです。最近は、寝る事が大好きなあげく、初めての仕事という事もあり、早いときには、夜の9時に寝てしまう事もあります。早く仕事に慣れたいと思っています。しかし、3ヶ月毎に、ローテーションするので、早く寝る日々は当分続きそうです。

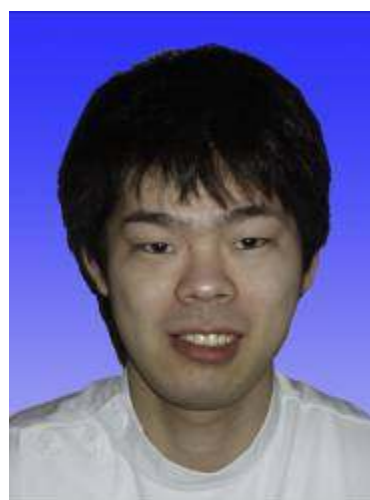
役に立てる日が早く来るように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



湘南病院 戸高 拓朗

出身校：昭和大学診療放射線専門学校 診療放射線科  
趣味：スポーツ（水泳・空手）、買い物、ドライブ

医療は常に進化し続けているので、取り残されないように日々精進していきます。



うわまち病院 塚田 裕美

初めまして！うわまち病院放射線科の新人第1号、塚田裕美と申します。出身校は北里大学、趣味は弓道と色々なところに旅することです。美味しいものを食べたり観光したりアウトドアが大好きです。今年は南国に行こうと思っています！ちなみに性格は写真の通りと考えていただければ幸いです（笑）まだまだ放射線技師として覚えることはたくさんありますが、先輩方にたくさんご指導をいただきながら頑張っています。これからどうぞよろしくお願い致します！



うわまち病院 小宮 桂

初めまして♪横須賀市立うわまち病院の新人2号、小宮桂と申します。出身校は東洋公衆衛生学院で、生まれも育ちも上町です。ちなみに病院までは信号1つの道のりです。趣味はドライブ、旅行、食べ歩き、映画鑑賞です。今年の夏は、せっかく海も近いのでサーフィンを始めたいなんて思っています。

仕事は、なかなか覚えが悪くみなさんに迷惑ばかりかけていますが、先輩方のご指導のもと頑張っています。人間的にも技師としても未熟な私ですが、よろしくどうぞ願致します。



うわまち病院 日景 武史

城西放射線技術専門学校卒の新人3号、日景武史です。趣味はスノーボードと音楽鑑賞、家族サービスです。好きな言葉はちょっと堅いですが「どんな分厚い雲の上にも、いつもそこに空があるということ」です。

フレッシュな時期を少し過ぎた感のある新人ですが、初心を忘れず頑張っていこうと思います。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



# 担当交代のお知らせ

エーザイ株式会社 神奈川医薬部 大石 和弘

昨年10月より横浜南共済病院の担当者として赴任いたしました。  
私は、貴会の賛助会員として入会させていただいた当事に在籍しており、  
実に11年振りに復帰いたしました。弊社がお手伝いさせていただいて  
おります「らせんCT研究会」も当時発足したと記憶しております。  
今後とも、お役に立てる情報提供を心がけて参ります。  
何卒宜しくお願い申し上げます。

エーザイ株式会社 神奈川医薬部 石黒 雅弘

昨年10月より前任の片桐に代わり横須賀エリアを担当させて頂いております。  
すでに、年末のボーリング大会&忘年会、春の総会懇親会等参加させて頂いておりますが  
このような紹介の場を頂戴しましたので遅ればせながらご挨拶させて頂きます。  
入社以来 鹿児島、埼玉、福島と移動を続けこの度神奈川に参りました。  
1場所での担当期間が長いので神奈川でもしばらくお世話になると思います。  
可能な限り行事には参加したいと考えておりますので今後とも宜しくお願い致します。



(左) 石黒 雅弘氏 (右) 大石 和弘氏



## 医師会報を読んで…

今回、横須賀市医師会報より、興味深い記事を見つけました。医師会の了承を得てこの度、当技師会の会報に掲載することにしました。会員みなさまにもとても有意義な記事だと思いますので、ぜひ目を通してみてください。

横須賀市立市民病院 高橋 宏之

## 医聖・林信雄伝を読んで

(久里浜班) 青木 太三郎

嘗って横須賀市立病院（焼失する前は現在の文化会館の位置にあった）に30年間の長期にわたり勤務された林信雄先生は、放射線医学に専念されて、それがためX線障害をうけ、両手の全指を失い、つづいて左腕を切断するに至ったが、ひたむきに専門医学に励まれた。その真摯な学研の態度を嘉して林先生の郷里（山形県鶴岡市）では、その篤行をたたえて「林 博士記念文庫」を昭和39年創設した。

レントゲン撮影で市内の医師を指導され、多くの患者、市民に慈父の如く慕われて、先生の死後、横須賀市では先生の功績をたたえる記念事業として、社会福祉機関、マザーズホーム並びに宇点図書館を創設するに至った。

### 略年譜

明治30年 鶴岡町にて出生

大正 8年 千葉医学専門学校卒（現千葉大学医学部）

以後、京大医学部中央レントゲン室出張、千葉医大内科レントゲン部、助手。

昭和 5年 医学博士学位授与

昭和 8年 横須賀市立病院赴任、内科、レントゲン科医長。以後、横須賀児童保健所長、長井分院長、保健所長、野比臨海療養所長などを兼務されて、昭和36年放射線障害による病状進行のため左腕切断。

その間、横須賀市身体障害者後援会長在任10年、同肢体不自由児父母の会会長6年。

神奈川県社会保険診療報酬支援基金審査委員5年間。

昭和37年 胃の手術

昭和39年 逝去、69歳。勲四等旭日小綬章。



<手指切断の順序>

- 昭和12年 左環指黒色角化切断ついで中節より切断
- 昭和18年 左示指基節より切断
- 昭和21年 左中指基節より切断
- 昭和25年 右中指節中央より切断
- 昭和27年 右示指基部中央より切断
- 昭和29年 右環指基部より切断。左環指基部より切断（第1回手術の残部）
- 昭和34年 右小指基節より切断
- 昭和35年 左小指基節より切断
- 昭和36年 左前腕下1/3切断
- 昭和37年 胃癌手術

林先生と共にX線医学を研究された瀬木嘉一博士が「故林信雄博士放射線障害歴」文献を、レントゲン医学に発表されているのでその一部を転載しますと、

「明治の末期から大正年間にかけてのレントゲン透視室は現在の防電撃、防X線時代に比べて隔世の感があった。すなわち二条の裸線の高圧ケーブルが、星のようにキラキラと紫緑色に輝き、入梅の時などはますます強く光を放って、衝破電流の音さえきこえるのである。それで感電の恐怖のまゝに、全身を触角のように気を配って動作しなければならなかった。また、管電圧、すなわち、管球硬度を知るにも、現在のようにメーターによらなかったもので、裸瓦斯管球の前に立って美しい輝緑色の光線に見とれながら、自分の手をかざしたり、アルミ階段の硬度計を用いたりして、全身にX線を浴びながら、撮影の条件に一致した硬度をきめたものである。いまから考えると、さながら百鬼夜行ともいべき観があった。

そのころまでは、レントゲン障害という恐るべき伏兵のあるのも知らずに、新進の科学に対し、ひたぶる心をもって、日も夜も分かつずに猪突猛進したものである。これがためハンブルグの一般病院の庭には、各国のレントゲン専門家と、放射線学者の科学殉教に対する榮譽の石碑が建てられ、今日までこの障害で殉職した全世界の犠牲者360余名の名が刻み込まれている。

林信雄博士の名も、やがては同じ運命のもとにたおれたものとして、その犠牲者のなかに刻みこまれることを期待しているが、読者諸君よ、こうした悲惨な歴史の堆積があつて、はじめて今日の安全で確実な診断治療の基礎が確立されたことを銘記しなければならない。」

不肖、私も昭和35、6年頃、横領賀なのはな会（千葉大同窓会）で、林先生にお会いしたことがあります。白い手袋をされて居たお姿が印象的でした。

先述の瀬木嘉一博士によれば、「林氏の第一印象は誰もがいうように、気品おのずから備わり、いかにも貴公子然たる姿であった。しかし、一たび言葉を交せば、低い声ながらよ

く透徹した口調で、何らの銜い気もなく歓談された表裏一体、洒々落々として親しめる仁であった。おそらく博士は生涯を通じて頭髪を分けたことはなく、辺幅を飾らず、いつも素朴で謙虚に振舞われていたことと思う。」

また、林先生が清貧に甘じた生活をされていたことについて、「先生の居宅は根だが弛んで柱は傾き、戸を締めても隙間が空いて風とうしがよく、廊下の敷板や戸板は雨露に蚕食されて木目が隆起し、床や畳にはデコボコと起伏が生じていた」と記されています。この状況を懸念された元文伊一郎先生、閑正昭先生らが発起人となって、林先生に家を新築して進呈する計画があったが、先生の逝去により実現しなかった。

畏友故林君慕悼

吟海（船津英治先生）

大いる勲のこして大いなる

星地に墜ちぬ天も時雨るる

横須賀市在住千葉麗子さん（閑尾秀一先生ご令嬢）は「林博士顕彰記念集」を点訳されています。放射線で手が不自由だったため、市の肢体不自由児父母の会会長や不自由な人達の福祉に努力を払っていたことに感銘をうけて点訳を決心されたと、当時の新聞に報道されています。

医聖・林信雄伝：佐久間佑生編著・佐藤保太郎監修

昭和45年1月20日発行 羽陽社

# 私のプライベートコラム

## 広報からのお知らせ

会員の皆様の中に、職場の部活動やクラブに所属している方いらっしゃいませんか？共通のスポーツや趣味で交流を深めればいいなと思い、紹介をしていきたいと思っています。「試合相手や練習相手を探したい！」「共通の趣味を持つ人を見つけたい！」「うちの部活紹介してえ〜！」・・・などありましたら、広報誌に是非載せてみませんか？原稿お待ちしております。まずは手始めに広報担当横須賀共済病院大内から、所属しているサッカー部の紹介をしたいと思います。

## 横須賀共済病院 サッカー部

横須賀共済病院 大内芽来

横須賀共済病院には多くの部活が存在します。私は小学生のころサッカーチームに所属していたこともあり、友人の誘いがきっかけで現在横須賀共済病院サッカー部に所属しています。サッカー部といえば以前は男子ばかりの部でしたが、私達の入部がきっかけとなり今では10人を超える女子部員が練習に参加しています。

練習は月に2~4回ほど佐原フットサル場にて練習しています。みんな仕事が忙しいため毎回参加することはできないのですが、色々な職種の人達との交流もあり、とても楽しく、そして時には厳しく練習をしています。

先日、年に一度の関東六共済サッカー大会が開催されました。我が横須賀共済病院にとっては三連覇のかかった大切な大会でした。今年のスーパールーキー、本会員の早瀬君の活躍もあって苦戦を制し見事三連覇を達成することができました。

これからは来年の四連覇に向けて練習に励んでいき、フットサルの大会にも参加していきたいです。

練習試合をしてもらえるチームを大募集しています。是非我が横共サッカー部と試合をしてみたいチームがありましたら御連絡ください。

# YMBITよりご挨拶

平成19年度がスタートしておりますが、皆様、当技師会ホームページを活用されていらっしゃいますでしょうか？



今年度は「ホームページのもっとリニューアル」として、年度早々より活動記録(スナップ集)、訃報連絡や理事会用グループウェアの入りの増設など、新しいコンテンツの導入も行っております。まだ見ていない方は是非ご確認ください。

理事会用グループウェアを活用して頂いている理事の方も徐々に増えてきています。非常に便利だというお褒めのお言葉を頂き、立ち上げメンバーとして嬉しい限りです。まだ活用していない理事の方もいらっしゃるようなので、ぜひご利用して下さるようお願い申し上げます。あなた宛の回覧版があるかも知れませんよ？

YMBITは今後とも皆様のご協力を頂きながら、会員・賛助会員の皆様のお役に立てるよう努力を続けていく所存でございますので、ホームページともどもよろしくお引き立てのほどお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://ymart.jp>  
携帯用アドレス <http://ymart.jp/i>  
メールアドレス [ymbit@ymart.jp](mailto:ymbit@ymart.jp)

追伸 : 活動記録(スナップ集)は、個人情報の保護の観点からパスワード入力が必要になっています。パスワードは下記のように入力して下さい。

例) 2007年2月6日の活動記録(スナップ集)を見る場合、半角でその年月日を入力します。

パスワード : 20070206

ご面倒ですが、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

YMBIT (代表) 濱田順爾、堀 裕明、大島俊直

## 編集後記

今年度も多くの新人が当会へ入会してまいりました。職場の雰囲気にも慣れたところで、公私共に充実した社会人生活を送っておられることと思います。

新人と言えば、今年2月に我が家にも新人家族が入会(誕生)致しました。興味津々の目であちこちを見回し、手に取る物すべてをなめ回し、驚くほどの速さで日に日に成長をしています。最近は寝返りを頻繁にするようになりましたが、仰向けからうつ伏せは出来るもののその反対が出来ず、必死にもがいて最後には大泣きの繰り返し・・・そんな姿を微笑ましく眺め、時には厳しく見守っている毎日です。

広報編集は今回が初めての体験。編集も父親もまだまだ新人の私ですが、今後も暖かい目で見守っていただけたら幸いです。

H 2



横須賀三浦放射線技師会

Vol. 33 No. 1 通算97号

2007年7月7日 発行

編集/発行 広報

印刷/製本 広報

広報担当	横須賀市立市民病院	高橋 宏之
	横須賀共済病院	大内 芽来
	〃 (YMBIT)	堀 裕明
	衣笠病院 (YMBIT)	大島 俊直
	〃	神田 眞世



## 横須賀三浦放射線技師会